

# 下関市立大学広報

発行

下関市立大学広報委員会

山口県下関市大学町2-1-1

TEL 0832 (52) 0288

FAX 0832 (52) 8099

http://www.shimonoseki-cu.ac.jp

## オープンキャンパス2006開かれる



学内案内風景



模擬講義



模擬海外研修

7月29日(土)、恒例のオープンキャンパスが開かれた。市内高等学校の生徒に加え、西日本全域から合計345名の参加があった。参加者アンケートでは特に模擬講義(佐藤助教授、中嶋助教授、西戸助教授担当)が好評で、「身近な例を挙げてとてもわかりやすかった」、「高校の授業との違いを体験できた」等の声があった。ほかにも模擬海外研修(サリバン講師、山田助教授、李講師担当)、コンピュータ体験等のメニューが用意され、それぞれ熱心な出席者は熱心に聞き入っていた。今年度は「市大生と語ろう」というコーナーが設けられ、トークショー、ビンゴゲームなので盛り上がっていた。またオープンキャンパスの一環として大学院の研究発表会、産業文化研究所主催の大学創立50周年記念シンポジウム「海峡学事始」が開かれ、一般市民を含む多くの参加を得た。



ロスメダノスでの歓迎式

左からイリチ国際部長、ヘンリー副学長、山尾さん、塩見さん、ガルシア学長、高梨国際部アシスタント

## アメリカ、ロスメダノスカレッジへ

### 最初の交換留学生を派遣



本年8月に本校の交換留学協定校である米国カリフォルニア州のロスメダノスカレッジ(以下、LMC)へ最初の交換留学生を派遣した。LMCへの留学募集に関しては、多数の応募があり優秀な応募者ばかりで選考は困難を極めた。厳しい選考の結果、国際商業学科の塩見美千代さんと経済学科の山尾麻衣子さんが最初の交換留学生として選ばれた。両君はホームステイ先から通学しており、勉学のみならず米国の家庭での生活とおし、文化や様々な事柄を経験し学習している。

本学とLMCは交流の拡大を目指すことで合意しており、今後は派遣学生数を増やすこと、1年間以外の派遣期間を設けることなどを目標として、積極的に協議していく。また、LMCがあるコントラコスタ教育自治区内のカレッジからの交換留学生の受け入れを目指す。

なお、10月17日にコントラコスタ教育自治区の交流部長アレックス・イリチ博士が来学され、博士によるLMCなどへの留学に関するプレゼンテーションが行われた。



イリチ国際部長による本学でのプレゼンテーション

## 第45回馬関祭開催



10月27日(金)～10月30日(月)の4日間の日程で創立50周年記念第45回馬関祭が開催された。今年のテーマは「flower」。27日(金)の前夜祭では、来場者に名物のふく鍋が振舞われた。28日(土)は、『mihimaruGT』のコンサートをはじめ、運動会や軽音楽部のライブ等が開催された。29日(日)は、博多華丸・大吉の爆笑ライブをはじめ、演武会や日本語弁論大会等が開催された。最終日の30日(月)はカラオケ大会やよさこい等が開催され、恒例の花火大会でフィナーレを迎えた。4日間を通して汗ばむほどの好天に恵まれ、多くの市民が本学を訪れ、様々な企画を楽しんだ。

## 第7回下関市中国語弁論大会開催

6月28日(水)に233番教室において、市立大学創立50周年記念第7回下関市中国語弁論大会(平和と文化の光彩～青年が切り拓く21世紀の日中友好)が開催され、参加者は、朗読の部、暗唱の部、弁論の部に分かれて日頃の学習の成果を競った。



本学学生は、朗読の部及び弁論の部で最優秀賞(下関市日中友好協会会長賞)を受賞した。

- 朗読の部：中小原里奈(国際商学科1年)
- 中島 将太(国際商学科1年)
- 弁論の部：西風 彰(国際商学科3年)

## 弁論大会に参加して

(国際商学科3年 西風彰)

I自分の持ち場にしっかり立つ。IIスピードと正確さを持って事に処する。III締めくくりを立派に仕上げる。これは中国の大教育者である陶行知先生のリーダーへの指針です。今回、スタッフ全員でこの指針を実行することができたと思います。

振り返ってみれば、私の中国語上達の契機も、この弁論大会にあったと思います。授業の中で先生から、「上手ね」と発音を褒めて頂いた時の感動は今でも鮮明に覚えています。それから中国が大好きになり、北京大学にも留学を果たしました。褒めて頂いた事が私の人生における決定打となったのです。実は、私は今まで、周囲から期待をかけられることが多かったのですが、その期待に応えなければならぬという重圧を感じて失敗ばかりしていました。そのため、期待するのはもうやめてほしいと、逆に周囲を恨むようになっていました。今回、実行委員長の大任を押し、はじめのうちは他の人にして貰えばいいのにとか、自分には無理だとか、ネガティブにばかり考えていましたから、暫くは受身的な準備を続けていました。そして、いつものように期待という大きな重圧がのしかかってきたのです。そんな私を見て先生は「結果は気にしないでいいからね。私はあなたが弁論大会を通じて成長してくれる事が嬉しいのだから。夢の実現のお手伝いさせてもらっているだけなのよ。」と言ってくれました。その瞬間、私の中から嘘のように重圧が消え、弁論大会当日は平常心で迎えることができました。

また、今回の大役を無事果たしたことで、私の中にあのとき、あれだけのことが出来たのだから、どんな困難も乗り越えることが出来る、という自信が生まれました。

先生や周りの友達との触れ合いや、切磋琢磨した中で生まれてくる素晴らしい経験が先輩から後輩へと受け継がれ、本学の伝統になって来ていると確信しています。

## 産文研シンポジウム

下関市立大学50周年記念市民大学シンポジウム「まちの駅」を知っていますか?～地域づくりを一緒に考えてみよう～が11月18日(土)にカモンステージ(唐戸・カモンワーフ3階)を会場に行われた。今年度は、観光、交流、まちづくりを通じての地域活性化の取組みやそのための拠点づくりについて考えることを内容に、下関21世紀協会との共催で行われ、40名ほどの参加があった。

- 第1部 基調講演
- 第2部 下関の観光、交流、まちづくりの最前線
- 第3部 パネルディスカッション
- 第4部 交流会



## 2007年度入試の概要

### ◆推薦入学

- 全国推薦  
2006年11月18日(土) 小論文
- 地域推薦  
2006年11月18日(土) 小論文

### ◆特別選抜

- 帰国子女特別選抜  
2006年11月18日(土) 小論文(日本語による)/面接

- 社会人特別選抜  
2006年11月18日(土) 小論文/面接
- 中国引揚者等子女特別選抜  
2007年1月27日(土) 小論文(日本語による)/面接
- 外国人留学生  
2007年1月27日(土) 小論文(日本語による)/面接

### ◆一般選抜

○前期日程 2007年2月25日(日) 下関・大阪  
前期日程試験の実施教科・科目及び配点

学科	大学入試センター試験	個別学力検査	配点	合計
経済 学 科	国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語から2科目(2教科)採用 <b>【科目の採用の仕方と配点】</b> ・すべての科目を200点満点に換算し、以下の1及び2の科目を採用。 1 最も得点の高い科目(さらに300点満点に換算) 2 次に得点の高い科目。  <div style="text-align: right;">300点+200点</div>	小論文	300点	800点
国 際 商 学 科	外国語(必須) 国語、地理歴史・公民、数学、理科から1科目採用 <b>【科目の採用の仕方と配点】</b> 1 外国語を300点満点に換算し採用。 2 外国語以外のすべての科目を200点満点に換算し、最も得点の高い科目を採用。  <div style="text-align: right;">300点(外国語)+200点</div>	小論文	300点	800点

### ○公立大学中期日程

2007年3月8日(木) 下関・大阪・福岡  
公立大学中期日程試験の実施教科・科目及び配点

学科	大学入試センター試験	個別学力検査	配点	合計
経 済 学 科	国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語から3科目(3教科)採用 <b>【科目の採用の仕方と配点】</b> ・すべての科目を200点満点に換算し、得点の高い順に3科目(3教科)を採用。  <div style="text-align: right;">200点×3</div>	外国語(英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング)	200点	800点
国 際 商 学 科	国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語から3科目(3教科)採用。 ※ただし、この3教科の中に数学か外国語のどちらかを含むこと。 <b>【科目の採用の仕方と配点】</b> ・すべての科目を200点満点に換算し、以下の1及び2の科目を採用。 1 数学か外国語のうち得点の高い科目。 2 1で採用した科目以外の科目から得点の高い順に2科目(数学と外国語の両方を受験した場合、1で採用されなかった科目も含む)。  <div style="text-align: right;">200点×3</div>	外国語(英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング)	200点	800点

※前期日程、公立大学中期日程とも外国語で英語を選択した場合はリスニング必須。

英語の配点については、①筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮した得点 ②筆記試験のみの得点のうち高得点の方を採用。

### ◆編入学 2006年11月18日(土) 小論文/面接

## 大学創立50周年記念 ソフトボール大会開催

下関市立大学創立50周年を記念して学内ソフトボール大会が8月5日に本学グラウンドで開催された。学内から選

抜されたチームが炎天下の下、文字通りの熱戦を繰り広げた。結果は以下のとおり。

- 優勝：ルージュズ(体育会サークル混成、写真左)
- 準優勝：健ちゃんズ(教職員、写真中央)
- 第三位：しょうつじ(応援団・空手道部、写真右)





# E. S. S.

E.S.S. 部長 竹原 佑貴 (経済学科2年)

私たち E.S.S. サークルでは、6月の末頃に全国の大学 E.S.S から十数名の参加者を募り、市大の E.S.S. 主催でのスピーチコンテストを毎年行っています。今年で37回を数え、先輩達が築き上げてきた伝統ある大会として部員が一丸となり、毎年コンテストの成功に努めています。英語のサークルなので普通のスピーチコンテストとは少し異なり、すべてを英語で行うイベントです。よって、司会から審査まですべてを英語で進行し、特に参加者はスピーチの内容、表現力等をアピールするだけではなく、英語の能力もなくてはならないということです。コンテストの形としては2つのスピーチによって審査されます。1つは、自ら作ってきた原稿を暗記して発表するのと、もう1つは、与えられたテーマについて与えられた短い時間内で要点をまとめて発表するというものです。市大からも毎年1人から2人参加するようにし、審査員として招いた大学の先生方により公平に審査していただきます。また、大会という形式に囚われず、大学間における友好的な関係を作り、保つ上でも重要なイベントとされています。



# 押忍!! 応援団です!

応援団副団長 山本 晃裕 (国際商学科4年)



我々応援団は、日々押忍の精神を学ぶべく、大学のグラウンドにおいて声だし、演舞等の練習を行っています。現在団員は四回生2名、三回生2名、二回生2名、一回生2名の計8名です。活動内容は、主に野球を中心とした試合応援と、イベント等における演舞披露及びにエール、また恒例行事として萩から大学までを三日間かけて歩く100キロ歩行や、一月上旬の寒さの厳しい綾羅木海岸に入る入水式などを行っております。応援団と聞くと、どうしても古臭い、堅苦しいというイメージが常につきまとい、どうしても現代とは逆行した存在のように感じられます。しかしながら、古き中の良きもの、変わってしまっはいけないものもたくさんあると思います。それらのものを、流れの速いこれからの時代に残していく事が、我々応援団の使命だと思っています。これからも、益々精進していく所存ですので、皆様、我々応援団へ応援をよろしくお願ひします! 押忍!!

## 平成18年度 大会出場結果一覧

サークル名	大会名	種目	成績
準硬式野球	中国地区準硬式野球春季大会		3位
剣道	北九州・下関地区大学体育大会	男子団体	3位
		個人	3位 小川敦子
	下関市体育協会会長争奪第46回市内職域・地域対抗剣道選手権大会	個人	3位 松盛周作
		男子団体A	3位
少林寺拳法	中・四国大会	男子初段の部	2位 石橋圭一 高橋正義
		男子段外の部	3位 平田 遼 岡田英樹
	山口県大会	男子初段の部	1位 平田 遼 高橋正義
		男子段外の部	3位 石橋圭一 杉本諭志
	山口県大会	男子初段の部	3位 石橋圭一 杉本諭志
		男子段外の部	1位 永江圭介 益富圭太
少林寺拳法	山口県大会	男子初段の部	2位 石橋圭一 高橋正義
		男子段外の部	3位 田中 創 横山 誠

少林寺拳法	山口県大会	女子段外の部	2位 王 微 神山聖加
	"	女子段外の部	3位 泉田彩圭 石田小春
	"	団体演武の部	2位 男子黒帯 茶帯
空手愛好会	紫電流空手道大会	一般青年の部	1位 小川将義
	"	"	2位 平岡玄社
硬式庭球部	北九州・下関地区大学体育大会	男子シングルス	1位 松永貴成
		"	2位 草野邦一
	山口県大会	男子ダブルス	2位 草野邦一 田原大輔
		"	3位 松永貴成 柳谷彰人
少林寺拳法	山口県大会	女子シングルス	3位 佐古井綾
		女子ダブルス	3位 池田麻依子 佐古井綾
		女子団体	3位
男子バスケットボール	山口県学生バスケットボール大会		2位
	卓球部	北九州・下関地区大学体育大会	男子団体
卓球部	山口県大会	女子団体	2位
		女子ダブルス	2位 衛藤理理 楠木亜衣子
	山口県西部卓球大会	一般女子ダブルス	2位 衛藤理理 楠木亜衣子
バレーボール	山口県リーグ		1位
軟式野球	西日本地区学生軟式野球春季リーグ		2位

## インターンシップへの意識の高まり

今年度は、春学期定期試験を9月中旬ではなく8月初旬に終了させるという学事日程変更後、初めてのインターンシップとなった。学事日程変更の理由の一つに、学生が夏季休暇を利用して積極的に社会活動に参画できる環境を整えるというものがあった。それだけに本年度のインターンシップへの応募者数と参加者数は例年以上に注目された。結果はある程度満足のいくものであった。就職委員会が確保した派遣先は、市役所の各部署を含めて25事業体であり、派遣学生の受入定員数は約50名であった。実際の派遣事業体への学生の応募者数は70名以上あり、ほぼ定員数どおりに学生の派遣はできた。この結果には満足しているが、応募者数が定員数を上回ったためインターンシップへの参加に強い意志を持ちながら、大学で用意した事業体に派遣できなかった学生がかなりの数にのぼったことは残念である。本年度の派遣学生の選考は、関係者にとって辛いものとなった。学事日程の変更理由は学生の間にも浸透しているようである。就職活動を迎える学生達のインターンシップへの意識も高まっている。来年度は、大学で用意した事業体以外のインターンシップに積極的に参加するよう学生に働きかけるとともに、就職委員会としても新たな派遣学生受入事業体を開拓する必要がある。

(就職委員会 西戸隆義)

### インターンシップ体験記

池田 紘子 (国際商学科3年)

私は本学での勉強を通して金融業界に興味を持ち、就職活動も金融業界を中心に行おうと考えていた。しかし、学生が金融業界の現場を知るには限界がある。そこで今回、下関信用金庫のインターンシップに参加し現場に触れ、就職活動に役立てようと考えた。

下関信用金庫のインターンシップは二部で構成されており、本店での銀行経営業務と支店での接客業務の両方を体験することができた。この体験を通して、お客様からお預かりしたお金を運用する難しさや法令遵守の精神、そして顧客意識の重要さを肌で感じながら学ぶことができた。それにより私が今まで抱いていた金融業界は冷たいというイメージが大きく変わり、私自身の勉強不足を自覚することにもなった。

どの職種であれ、様々な方面にアンテナを張りより多くの情報や経験を得ていなければ、問題にうまく対処することが出来ない。このインターンシップで、「私達学生は多くの時間があるのだから、色々な事に挑戦するべきだ」と日ごろ接する機会のない人生の先輩から教わった。そしてインターンシップとは、「社会のなかの一個人」と「学生としての一個人」とは違った自分であることを様々な角度から考えることができるチャンスでもある。

興味があるのなら、是非皆さんもどの職種でも良いのでインターンシップに参加してもらいたい。

瀬上 真由 (経済学科3年)

就職活動を始める前に、是非多くの学生にインターンシップに参加して貰いたいと思える様な体験だった。インターンシップは就労の現場を見ることが出来るチャンスというだけでなく、自分自身を見つめ直し新しい何かを始める良いきっかけになると思う。

私は接客業務に興味があったので、下関グランドホテルをインターンシップ先として希望した。ホテル業務研修は

勿論、三日目からは現場に出て実際に業務を体験し、身をもって仕事の大変さと楽しさを学ぶ事が出来た。ホテル業務というと接客やサービス等、目に見える華やかな業務ばかりを想像しがちだが、今回の体験によってそれ以上にお客様をお迎えする準備に時間と手間をかけている事を知った。従業員の方のお話を伺ったこともとても勉強になる。働く事への信念や姿勢を聞かせて頂く事が出来、自分自身の就職への心構えをもう一度考えさせられた。

こうして何か一つを自分の力でやりきるといふ貴重な経験を通して、より自分の考え方や自己意識が広がったように感じる。大学生活で何かを熱心に行うという事が少なかった私にとって、インターンシップによる就労体験は何にも代えがたいものとなった。



## 中国語スピーチコンテスト 優秀賞受賞

日本中国語検定協会創立25周年記念中国語スピーチコンテストが10月7日(土)に東京の津田ホールで開催され、一次予選を通過した本学大学院経済学研究科2年の藤井亮光さんが弁論の部優秀賞を受賞した。



### スピーチコンテストに出場して

藤井 亮光 (大学院経済学研究科2年)

私はこの度、日本中国語検定協会創立25周年記念中国語スピーチコンテストに出場し、優秀賞を受賞することができました。先生の薦めで申し込みはしましたが、一次予選を通過できるとは思っておらず、知らせが届いた際には驚きました。しかし、これは学生生活最後にして最高のチャンスだと思い、真摯に練習に取り組みました。

私はこのスピーチを通して、北京大学留学中に感じた中国人の優しさと、そんな中国の方への感謝の気持ちを伝えました。審査員のお一人であるNHKラジオ講座を担当されている李旬先生から「心が中国人になったようですね。素晴らしい文章です」という、身に余るお言葉までいただきました。この瞬間、自分の発表が、人の心に届いたのだと実感し、思わず感動してしまいました。

このような結果を残せたのは、自分ひとりの力ではなく、多くの人の助けや応援によるところが大きいと思います。賞を受賞できたことは、もちろん嬉しいことです。しかし、この発表を通じて、たくさんの人と関わったこと、心を通わすことができたことこそが、何よりの収穫です。

私の学生生活に、このような機会を与えてくれた下関市立大学の教職員の方々に心より感謝しています。市大は私の誇り有る母校です。

挑戦し続ける中にチャンスはあるのだと確信しました。後輩たちにも、このようなチャンスを、市大でしっかりと掴んでほしいと切に願います。

# 国際交流

今年度も英語・中国語・朝鮮語の各語学において、夏期休業中に「外国研修」を実施した。これは英語圏、中国、韓国の大学などに教員が引率して行う短期語学研修で、それぞれの外国語の授業科目として開講されている。今年度は、イギリス・キングズ英語学校ロンドン校(9/1~9/28)、中国・青島大学(9/9~9/27)、韓国・東義大学校(8/5~8/19)で実施された。

## イギリス語学研修に参加して

国際商学科3年 越智 藍子



この一ヶ月間の研修はとても内容の濃いもので、何物にも変えがたい宝物を得ることができました。出発前にテロ未遂事件などがあり不安もありましたが無事に終えることができて本当によかったと思います。

渡英後まず困惑したことは、イギリス英語に不慣れだったことです。私達に親しみのあるアメリカ英語と違って、発音や単語が少し異なるため、イギリス英語の下調べが不十分だったこともあって戸惑う場面もありましたが、2・3日も経てばすんなり耳に入ってくるようになりました。

現地の学校では世界各国から勉強に来ていた大勢の人たちと友達になり、交流を深めることができました。母国語は違っても分かり合える、英語という共通語の素晴らしさを改めて実感しました。一つ後悔したことは、私はサッカーの知識が乏しかったことです。会話のきっかけはサッカー、ということが多かったので、次の機会にはそのような知識も身につけていこうと思っています。

幸いにも今回は大使館を訪問し、大使からお話を伺える機会にも恵まれ、将来に向けてとてもよい刺激になりました。

母国を離れ、他国から見つめなおすことで日本の素晴らしさを再認識でき、今まで以上に日本人であることに誇りを持つことができました。

## 韓国語学研修に参加して

国際商学科1年 小楠由利子

第二外国語として韓国語を習っていた私にとって、この研修に参加する事はとても不安でした。しかし韓国へ行ってみようという思いが強く、研修の参加を決めました。

研修地の東義大学校は、とても恵まれた環境でした。授業ではソン先生に韓国語を教わり、日本語学科の学生がチューターとして授業の後、買い物や食事に連れて行ってくれました。食事の時には、日本では口にすることのない幼虫やポーション(犬の肉のスープ)を食べたりもしました。

韓国の街の道路は車線が多く、中央分離帯がありません。これは戦争が起こったときに、道路が滑走路にもなるように、との理由だそうです。日本では、8月15日は



終戦記念日ですが、ここ韓国では、独立記念日なのです。その日は街中に国旗が掲げられていました。そんな街を眺め、「平和な中にもなお残る戦争の影」を感じました。

プサンに来て得たものは計り知れません。

この研修で学んだ韓国語、優しく教えてくれたソン先生、プサンで出会った友達、困ったときには助け合った友達等々。チューターのみならずまた会うその時までには、不自由なく自分の気持ちを韓国語で伝えられるようになっていきたいです。

最後に、私たちを引率して下さった白川先生と、この研修への参加を快諾してくれた両親に感謝したいと思います。カムサハムニダ。

## 青島大学短期留学

経済学科3年 室井喜美子

私は今回、夏季休業中に、中国の青島大学へ、約3週間の短期留学に行ってきました。

中国語は、第二外国語で学んだだけであり、ほとんどしゃべれないレベルであるという不安と、初めて経験する海外生活に対する期待とで、出発の日を迎えました。中国に到着し授業が始まって本場の中国語を耳にすると、スピードの速さ、発音の難しさなど、これからの授業に不安を感じました。しかし、ネイティブの先生の発音というとてもいいお手本の下、初級のクラスであったこともあり、基礎中の基礎から学ぶことができました。また、クラスには韓国、米国、蒙古などさまざまな国の人がおり、各国の文化に触れる事ができました。その文化の違いというもの、カルチャーショックだという言葉で片付けてしまうのではなく、それをお互いが尊重し分かり合おうとすることが、真の国際交流であると思いました。

そして、私がこの短期留学で強く感じたのは、今や中国の経済発展が著しいと言われる中でも、いまだに貧富の差などの問題が深刻であると思われることでした。物乞いする人を路上で目にした時はとても衝撃を受けました。身障者の路上に座りお金を求める姿、親子の物乞い、ゴミ箱をあさる浮浪者……、生活保護の行き届いていない社会がそこにはありました。私たちは、今の生活が送れていることを誇りに思い、普段の生活を見つめ直して見るべきだと思います。いろんな意味で考えさせられた留学となりました。



## 平成18年度セクハラ防止講演会開催

学内におけるセクハラ行為を防止するため下関市立大学セクシュアルハラスメント防止委員会主催により、6月28日(水)にA講義棟131番教室においてセクハラ防止講演会を開催した。講師はカウンセラーの市場恵子氏、演題は『セクハラ・アカハラ・デートDVってなァに?～被害者にも加害者にもならないために』。約100名の参加があり、参加者の評価も概ね好評なものであった。

また、講演会に先立って、同講師により、セクハラ相談員を対象としたワークショップも開催された。

## 創立50周年記念事業

下関市立大学は今年度、創立50周年を迎えた。平成19年3月に完成する新しい体育館で記念式典が開催される。

【日時】 平成19年3月18日(日)  
午後1時30分より

【場所】 市立大学体育館

また、同日午後4時30分より、シーモール下関にて、記念祝賀会も開催される。

## 同窓会関西総支部設立総会開催

下関市立大学同窓会関西総支部 会長 澤田 勝公

兵庫・大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山の6府県に居住する同窓生を会員とする同窓会関西総支部が設立され、9月10日(日)ホテルニューオータニ大阪鳳凰の間で設立総会が開催された。

商業短期大学第一期生から平成14年の卒業生まで約130人が出席し、全国で13番目となる新しい支部の門出を祝った。以前から同期会や企業内同窓会等があったが、今年市大が創立50周年を迎えたこと、更には来年公立大学法人として新たなスタートをきることから、同窓会設立の機運は一気に高まり、関西6府県の有志の方々の協力により設立世話人会の活動が始まった。

関西地区には、2000人近い同窓生が居ると推定されるが、経済圏は広く居住地と勤務地が交錯しているため同窓生の動向がつかめない状況にある。更には個人情報保護法施行の影響で個人情報の入手が困難になるといふ時代の背景もあった。

しかしながら、古い名簿を手がかりに、電話による所在確認を手分けして行うとともに、卒業後も音信ある人に関西居住者の紹介を依頼した。会員の把握に、想像以上の時間がかかったが四ヵ月後には約500人の名簿ができた。ただ、残念なことに最近の卒業生については、手がかりがないため連絡が取れず申し訳ないと思っている。

設立総会当日は生憎の小雨模様であったが、午前11時の受付開始前から会場ロビーには同窓生が集まり始めた。乳母車にお子様を乗せたお母さんや、前日に連絡を受けて駆けつけた人も見うけられた。

## 市民公開講座 秋学期は二講座開講

教養総合C 人物から歴史・文化をひもとく

日時：毎週月曜日 5時限 16:30～18:00

場所：下関市立大学B講義棟3階 233教室

内容：「阿倍仲麻呂と唐の詩人たち」「革命の父」孫文の虚像と実像」「毛沢東、鄧小平と現代中国」「小さな国の「偉大な指導者」：リー・クアンユー」「シェークスピアとその時代」「二足の草鞋を穿くー作家兼治安判事 H. フィールドینگ(1707-54)ー」「カントとフランス革命」「クーベルタンと近代オリンピック」「英国諸国民の兄弟の連帯ーチャーチルの構想」「江戸時代における西洋近代科学の導入と伊能忠敬」「高杉晋作と明治維新」「山口孤剣とその時代」「関門の文学ー松本清張ー」

地域論 地域の視点から社会を見る

日時：毎週金曜日 5時限 16:30～18:00

場所：下関市立大学B講義棟3階 233教室

内容：「はじめに～地域とは何か」「地域構造と下関」「産業再編成と地域」「環境へ、地域を読む」「地域へ、技術環境を問う」「社会学は地域をどう考えるか」「土着型社会と流動型社会」「地方自治制度と地域の変容～法律学の視点から考える～(I)(II)」「離島地域の風土と生活(I)(II)」「離島地域の風土と生活」「地域(コミュニティ)とは何か～地域生産力と地域共同体によせて～」「地域と福祉」

第一部の総会では、総支部規約・役員選出・18年度活動方針案等の議題について、すべて承認可決された。

第二部の懇親会では、ご来賓のご祝辞(山村副市長、堀内学長、柴田同窓会会長)に続き、商業短大1期生の乾杯の音頭により、会場は一気に懇談の場となった。

最初は府県ごとのテーブルを囲んでの懇談、次には、府県のテーブルを越えての同期との挨拶、クラブの先輩・後輩の挨拶、同じ下宿の住人挨拶、ゼミの仲間話等へと交流の輪は広がっていった。会場では下関市から提供されたビデオ映像が放映され、下関市の発展・変貌ぶりに会場からは驚きの声が聞こえた。

懇親会の2時間はアツという間に過ぎ、中締めの声も会場内には届かないような状況で終宴した。参加された皆さんは次回の再会を約束して、会場を後にされた(本学からは、堀内学長、丹下学生部長及び植田事務局長の3名が出席。写真提供：株式会社みなと山口合同新聞社)。



## 朝鮮語弁論大会開催

下関市立大学50周年記念行事として、昨年度に引き続き、第2回下関市立大学朝鮮語弁論大会が開催される。

本学学生の他、他大学生、中学生及び一般参加者が朗読、暗唱、弁論の3部門に分かれ、日頃の学習の成果を競う(入場無料)。

【日時】12月13日(水)13:10~

【場所】B棟233教室

## 出前市民大学 今年度も開講

昨年度より始まった出前市民大学は、今年度は五講座を開講している。

### 古民家活用を通じての地域活性化

講師：高嶋正晴(下関市立大学助教授)

日時：10月8日(日)13:30~15:00

会場：歌野清流庵(菊川町)

### 住民が考える長府というまち

講師：加来和典(下関市立大学助教授)

須藤 廣(北九州市立大学教授)

日時：10月21日(土)14:00~15:30

会場：長府公民館

### ウォーキングで健康づくり

講師：小笠原正志(下関市立大学助教授)

日時：11月26日(日)10:00~11:30

会場：菊川体育館、田部川河川敷(菊川町)

### 市民生活の法としての民法一成年後見制度を中心に

講師：平山也寸志(下関市立大学助教授)

日時：11月26日(日)10:00~11:30

会場：川棚公民館(豊浦町)

### 健康増進プログラム

講師：小笠原 正志(下関市立大学助教授)

日時：12月10日(日)10:30~12:00

会場：豊田生涯学習センター(豊田町)

## 平成18年度 市民大学実習講座

今年度の市民大学実習講座は下記の五講座を開講している。会場はいずれも下関市立大学。

### 【中級～上級英会話】—英語でシャベリ場3—

定員 20名

日時 9/27~12/20(全12回)

水曜日 18:30~20:00

講師 クリステン・サリバン(下関市立大学講師)

### 【初級中国語会話】—ほんとうに初体験の中国語—

定員 20名

日時 9/25~12/25(全12回)

月曜日 18:30~20:00

講師 金 婷(下関市立大学講師)

### 【初級朝鮮語会話】—ようこそ朝鮮語の世界へ—

定員 30名

日時 9/20~12/25(全12回)

水曜日 18:30~20:00

講師 李 亮(下関市立大学講師)

### 【中級コンピュータ講座】—ホームページの仕組み—

定員 20名

日時 10/3~11/28(全8回)

火曜日 18:30~20:00

講師 松本義之(下関市立大学助教授)

### 【ぜい肉取らナイト教室】

定員 30名

日時 10/13~12/15(全5回)

金曜日 19:00~20:30

講師 小笠原正志(下関市立大学助教授)

## 創立50周年記念・学術講演会

本学創立50周年を記念して、12月~1月にかけて下関市立大学学生会主催の学術講演会が開催される。

12月1日(金)16:30~18:00

演題：大学研究—公的ニーズ?将来のシーズ?(イギリスの経験から)

講師：トーマス・チャイルズ(リーズ大学教授)

12月4日(月)16:20~18:10

演題：世界新発見—世界に広がるチャイナタウンとアメリカのエスニック社会

講師：山下 清海(筑波大学大学院教授)

矢ヶ崎典隆(東京学芸大学教授)

12月11日(月)16:30~18:00

演題：中国における日本文化の伝播と影響—ことば・小説・アニメーション

講師：蔡 敦達(上海同济大学教授)

1月15日(月)16:30~18:00

演題：水俣病事件とアジアにおける産業公害・環境汚染—まだ見えぬ被害の全体像と今後の課題

講師：谷 洋一(アジアと水俣を結ぶ会事務局長)

## 行事記録(2006年6月~10月)

6月1日(木)開学記念日

16日(金)第1回就職ガイダンス

22日(木)入試説明会・学生総会

7月3日(月)春学期試験時間割発表

17日(月)春学期補講(~21日)

24日(月)春学期試験開始(~8月4日)

29日(土)オープンキャンパス

8月4日(金)クリーンキャンパスデー

7日(月)第2回就職ガイダンス

5日(土)夏季休業開始(~9月30日)

9月16日(土)大学院(一次)入試

20日(水)市民大学開講

25日(月)大学院(一次)入試合格発表

29日(金)平成17年度春学期卒業式

10月2日(月)秋学期授業開始

履修届提出締切(~10日)

大学院(一次)入学手続開始(~6日)

5日(木)就職入門ガイダンス(前期)

28日(土)大学祭(前夜祭)(~31日)